

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」栗林南校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 3 | 2 | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 2 | 2 | 1 | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1 | 2 | 2 | 玄関の段差がある。スロープ等必要な際には検討。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 2 | 3 | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 1 | | 昨年よりおこなっている。業務改善につながっている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 2 | 3 | | 昨年より、ホームページで公開している。今後も継続していく予定。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 1 | 3 | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 2 | | 内部研修・外部研修に積極的に参加している。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 2 | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 3 | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 3 | | ミーティングで職員同士で意見を出し合っている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 3 | 1 | 1 | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 2 | 1 | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 2 | 2 | 1 | 個別が主である為、集団活動の計画の作成は現在行っていない。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 2 | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 1 | 4 | | 基本的には朝行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|---|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 1 | 4 | | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | 2 | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | | 4 | 1 | 確認を行っていく。 |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | 2 | | 児発管や担当者が参加している。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 3 | 2 | | 送迎がない為、それに関連する共有は行っていない。学校連携を行うことで、利用者様の困り感や不安感の軽減を図ったり、合理的配慮を得る働きかけを行っている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 4 | | 現在は利用がないが、希望があれば検討する。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 3 | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 4 | | 現在のところ、前例がない。希望、必要があれば行っていく。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 3 | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 1 | 4 | 個別が主であり、現在は行っていない。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | 5 | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 2 | 3 | | 支援後に保護者の方との時間を数分設けている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 4 | | |
| 保護者への | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 1 | 4 | | 加算等の詳しい説明を再度おこなっている。 |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 1 | 4 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|----------------------------------|
| 説明責任等 | | | | | | |
| | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 1 | 4 | ご希望があれば検討する。 |
| 非常時等の対応 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | 2 | | |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | 2 | | 毎月おたよりを発行している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 3 | 2 | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | 2 | | |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 3 | 2 | 現在イベント行事を行っていない。 |
| | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 1 | | 毎月、職員間で行っている。利用者様との訓練は少ない。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 2 | | |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 2 | | 現在、対象の利用者様はいない。必要があれば、了解を得て記載する。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 1 | 2 | 2 | 食事の機会がなく、聞き取りのみ。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | 4 | 1 | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」栗林南校 保護者等数（児童数）：33 回収数：31 割合：93%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|---------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 26 | 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スペースはあるが、机といすが小さい子どもには合っていないと思う。 →筋力の弱さなど別の原因も視野に入れて個別の対応を行っていく。 ・活動のスペースはあるが、声が筒抜けの為、騒がしいときもある。声の大きい職員もいるので少し意識して下げてもいいのではと思う。 →声の方向を踏まえた配置、同時間帯の支援の組み合わせの検討をしている。 ・私の子どもには十分だが、活動的なお子さんには足りないかも。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 15 | 15 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・バラつきがあると感じる。偏りがある。 ・強いて言うなら、学習支援の得意な先生がもう少しいてくれたら。 →ミーティングや研修で子ども理解や専門性を高めていけるように努めていく。利用者様と支援の方針を再度確認していく。 ・振替が取りにくいので増やしてもらいたい。 →一日の定員数の関係で難しい面がある。ご説明をしっかりと行っていく。必要な支援回数の見直しも検討中。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 15 | 11 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの扉が重い。 →軽すぎると勢いよく開け閉めができ挟み事故等の危険がある為、あえて重くしている面がある。ネジ調整にて微調整を行っていく。 |

| | | | | | | |
|----------|---|--|----|----|----|---|
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・玄関を出るとき、駐車場にて注意が必要。 →玄関が歩道、車道と繋がっている。声掛けでの注意の促しや必要時には一緒に車まで行くようにしている。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 29 | 2 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 27 | 4 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 13 | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に必要性を感じていないです。 ・個別なのでいいえに○をつけています。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 31 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 30 | 1 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 28 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・育児に関する助言はありませんが、必要性を感じていない。 |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 5 | 10 | 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に希望していない。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 24 | 7 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 28 | 3 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 23 | 8 | | |
| 非常時等の対応 | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 29 | 2 | | |
| | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 23 | 8 | | |
| 満足度 | ⑯ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 27 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎週とても楽しみにしている。 ・〇〇できた、〇〇してみるなどの声が出るようになった。 |
| | ⑰ | 事業所の支援に満足しているか | 24 | 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・勉強も教えて頂いて満足しています。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|---|
| | | | | <p>・先生からの一言で、少しやる気向上したよう。</p> <p>・時間になったの机上が前のままだったり、事前に予約をしているのだから準備を整えてほしい。</p> <p>→終了時間が分かりやすい工夫の検討と再度、職員間で意識をするようにしていく。</p> <p>利用者様の相談等に時間が必要な場合は、必要に応じて他の日時への案内を行う。</p> <p>・回数、時間を増やしたいが、場所と時間の都合がなかなかつかない。</p> <p>→一日の定員数や職員の人数によりご希望の日時での支援のご案内が難しいところがある。</p> |
|--|--|--|--|---|

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。